

2014年度スーパーグローバル大学創成支援事業に関する大学評価を受けて

グローバル戦略本部副本部長

副学長 福田好朗

本学の「課題解決先進国日本からの持続可能な社会を構想するグローバル大学の創成」構想が、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU事業）」に採択され、その後、2014年11月にグローバル戦略本部が設けられ、実質的な活動が開始された。この初年度、実質的には4ヶ月の活動について、外部評価を実施していただいた。この外部評価に当たっては、大学評価委員会経営部会の委員の方々にお願ひし、短期間の活動および構想実現の準備状況を評価いただくことになり、ご苦勞いただくことになった。

この評価では、本学の取り組みの準備状況は、一応整っているとの評価をいただいたが、それは、SGU事業に先立ち採択されている「グローバル人材育成支援事業」が行われているため学生の海外留学の仕組みや外国語能力向上の方策などについてである。大学の質的变化を目的としたSGUそのものの事業については、実施期間が短いこともあり、実績に基づく評価は、十分できないとの条件のもとで、構想実現のための提言を含めて、多くの点を指摘いただくことになった。

この評価報告書では、特に、SGU事業の本質である大学の国際通用性を高めるための教務システムの改革、教育の質的転換、入試改革およびガバナンスの改革の必要性について述べられている。また、本学が構想調書で述べている持続可能な社会を中心とした教育および研究の発信をどのようにすべきかについても言及している。

この評価によって、SGU事業は、グローバル化をキーワードとした事業であるが、単なる国際化ではなく、教育システム、教育の内容、研究、ガバナンス、情報公開など大学全体の国際通用性を高めるものであることを再認識するとともに、この構想を実現するための端緒であることも認識させられることになった。

初年度からの外部評価であったが、事業の開始時点で、貴重な意見をいただく機会を得ることになり、評価に尽力していただいた委員の方々に、感謝申し上げます。